

(5) 出石地域

ア 地域の概要

- (ア) 出石地域は、本市の南東部に位置する地域で、出石川沿いに通る国道426号を基軸とした交通体系が形成されています。
- (イ) 出石地域の市街地部は、城下町として歴史的な町並みが形成され、出石城跡や有子山城跡、辰鼓楼、町家等の資源が数多く残っています。
- (ウ) 平成19(2007)年には国の「重要伝統的建造物群保存地区」に選定され、多くの観光客が訪れています。
- (エ) 出石そばや出石焼等の地場産業でも有名な地域です。
- (オ) 市街地の周辺には優良な農地が広がりを見せています。
- (カ) 南部の山間部は、出石糸井県立自然公園等の緑豊かな山並み、ホタルが舞う奥山川等の自然環境が残っています。
- (キ) 出石まちづくり公社や観光協会等の各種団体と行政が連携した様々なまちづくり活動が展開されています。

イ 地域の課題

- (ア) 重要伝統的建造物群保存地区の町並みを保全する一方で、密集する木造建築物の防災対策、地域全体の防災性の向上を早急に進める必要があります。
- (イ) 観光等による来訪者は増えつつありますが、一方で人口は微減傾向となっており、空き家や空き地の増加等への対応を検討する必要があります。
- (ウ) 住民の足となる公共交通の確保に努め、高齢者等が移動しやすい環境を整えるとともに、市街地内の道路環境の改善、幹線道路の充実など安全で利便性の高い住環境の形成を図る必要があります。
- (エ) 里山の美しい景観や優良な農地と集落で構成される田園環境など、良好な地域環境を維持保全する必要があります。
- (オ) 城下町出石の歴史的町並みや伝統産業、地場産業等を活かし、地域の活性化を図る必要があります。
- (カ) 老朽化した公共公益施設の利活用や再編等を検討する必要があります。



ウ 地域づくりの将来像と目標

(ア) 地域づくりの将来像

「歴史ある城下町に、より一層磨きをかけた地域づくり」

(イ) 地域づくりの目標

- ① 歴史的な町並みを活かした地域の魅力向上
- ② 安全で安心して暮らせる地域環境の創出
- ③ 来訪者、住民にとって利便性の高い都市基盤の充実
- ④ 災害に強い農山村集落環境の創出

エ 目標に沿った地域づくりの方針

(ア) 歴史的な町並みを活かした地域の魅力向上

- a 歴史的な町並みを保存しつつ、定住や観光交流を促進するため、町家の改修を継続的に支援するとともに、町家の活用を進めます。
- b 密集住宅地の無電柱化等により、快適な居住環境の創出を推進します。
- c 町家の利活用を進めるため、官民一体となった推進体制づくりに取り組みます。
- d 住宅と地場産業が混在する市街地では、周辺の住環境や景観に配慮しつつ、機能の維持保全に努めます。

(イ) 安全で安心して暮らせる地域環境の創出

- a 安全で安心な市民生活を確保するため、建物の耐震診断・耐震補強、防火対策を促進します。
- b 重要伝統的建造物群保存地区の防災計画の策定等、防災対策を早急に進めるとともに、防災の取組みを地域全体に広げていきます。
- c 出石川や谷山川、奥山川等においては、動植物の生息生育環境を確保し、安全で潤いのある河川環境を創出するため、自然環境との調和に配慮した水辺環境の維持保全に官民一体となって取り組みます。

(ウ) 来訪者、住民にとって利便性の高い都市基盤の充実

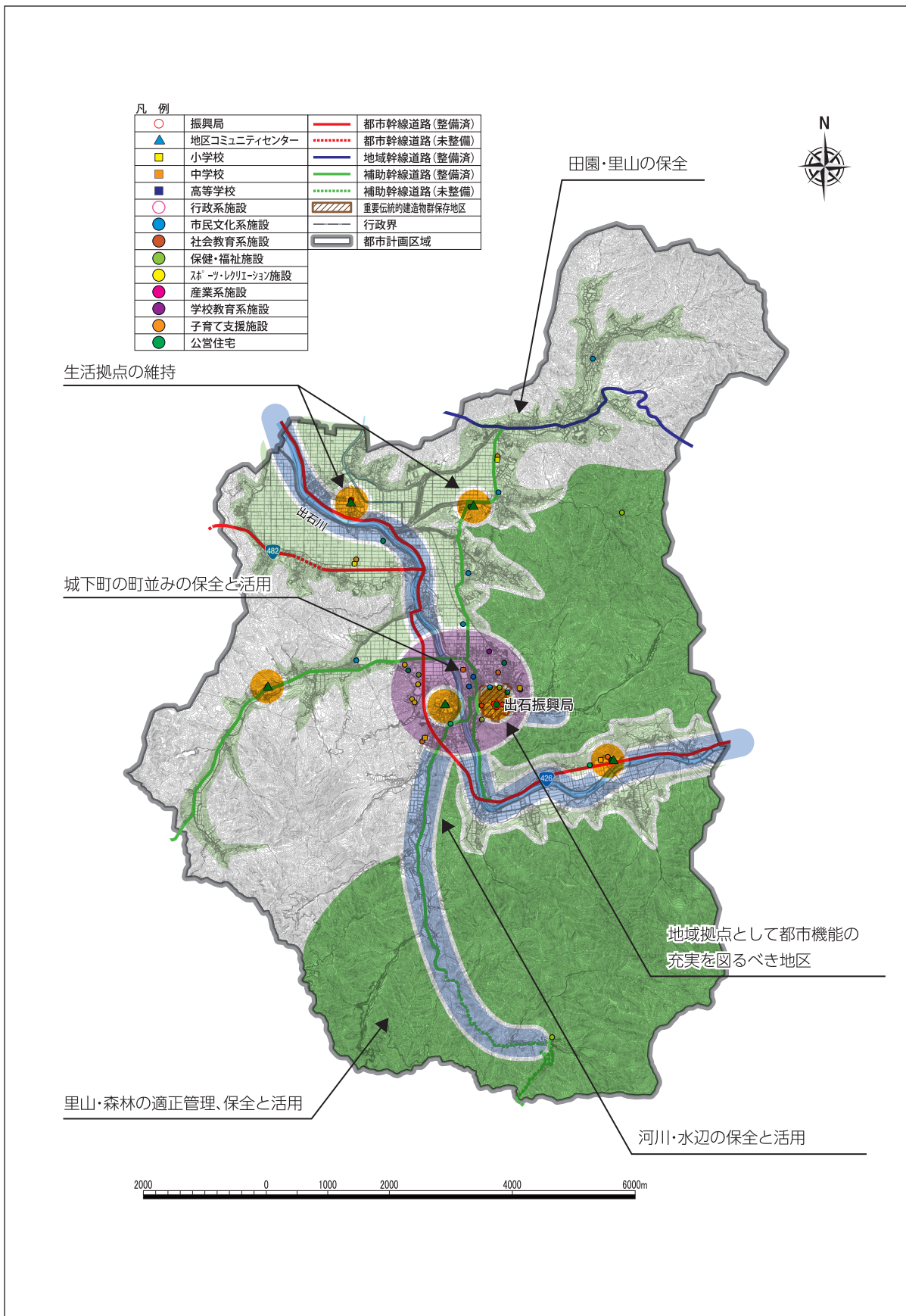
- a 市街地部では、商店街等の既存ストックを活用し、商業、居住、観光文化、行政機能等の都市機能の集積を維持するとともに、公共交通の利便性の向上、バリアフリーの推進、都市環境の充実に努めるなど、本地域の拠点にふさわしい商業地を形成します。
- b 円滑な道路交通環境の確保や安心して通行できる歩行者空間を確保するため、道路及び駐車場等の整備検討を進めます。

- c 地域住民や地域コミュニティ組織等と連携し、地域主体交通(チクタク)の支援や、地域住民の交通利便性の維持向上に努めます。
- d 災害時に、一時避難場所及び防災活動の拠点として役割を果たす防災公園やオープンスペース等の整備を進めます。

(工)災害に強い農山村集落環境の創出

- a 農山村集落では、豊かな農地や森林と一体となった快適な居住環境の維持向上を図ります。
- b 出石糸井県立自然公園を中心とする森林等の自然環境や景観を保全し、活用することで、観光や環境学習、レクリエーション等の場の確保に努めます。
- c 多様な主体の参画と協働のもと、里山整備等を進め、土砂災害の防止や獣害対策、水源涵養等の森林の公益的機能の回復、維持に努めます。





図表5-6. 出石地域まちづくり構想図